



内科・胃腸科・呼吸器科・放射線科

# ゆとりが丘クリニック 便り

〒020-0638 岩手県滝沢市土沢541番地

TEL 019-699-1122 / FAX 019-699-1121

平成28年8月27日(2016) 第0039号



秋野原

## 『夢』

院長メモ

86歳になったトシさんが話し出します。  
「先生あのなあ、おらあ久し振りに息子の夢みたつけ。」  
トシさんの息子さんは35歳で胃癌で他界し、トシさんの立場にすれば、6人兄弟の末っ子を失ったということになります。話は以下のように続きます。

\* \* \* \* \*

どういわけか、大きな運動場がいくつか合わさったような広々としたお寺の本堂らしきところに立っていたら、息子が小走りで駆け寄り話しかけてきたそうです。

「お母ちゃん、俺は今、仏様の近くに寄せてもらって、仏様のお手伝いのようなことをさせてもらっているから心配しなくていいから。」

見れば周りはやや寒々とした季節なのに息子は裸足。きちんと洗濯したものを着てはいたけれども、やや薄手のように見えて寒いだろうにと不憫に思ったとのこと。

そんな息子が手に自分の息を吹きかけ吹きかけ話すものだから、トシさんはますます可哀想に思ったようでしたが、トシさんはその“可哀想”という言葉を読み込んで、

「そりゃあ良かった。しっかり仏様にお仕えしなさいよ。」と話す息子は「うん、大丈夫だ。」と微笑んだそうです。

「ところで父さんはどこさいた？」と尋ねると、

「ああ、向こう方で修行している。呼んできてやりたいけれども、俺はすぐ仏様の所に戻らなければならないから。」

「いいよ、いいよ。父さんも元気であればそれでいい。」とトシさん。

「じゃあ、俺は行くけど、お母ちゃんは俺のことは何も心配することはないから。」

と言って小さく手を振ると、駆け足で広くて霧がかかっている奥の方へ走り去っていったとのこと。トシさんは心から安心したようで、不思議と涙も出ずやっとながら気持ちが解放されたというようなことを私に話しました。

\* \* \* \* \*

以後、外来で時々息子さんのことを話しては、ふと暗くなる表情がトシさんから消え、自宅の居間にある息子さんの小さなスタンド写真を、真正面から見るできるようになったと後から聞きました。

## 9月休診日・診療時間のお知らせ

★ 9月10日(土) 午後休診

医師会会議の為



※ 場合により変更になる場合がございます。御了承願います。

(日曜・水曜・祭日は休診日です) 平成28年9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7 <small>午前検査外来</small>	8	9	10 ★
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

○=休診日 ★=診療時間変更

岩手医科大学付属病院 - 岩手西北医師会在宅ネットワーク

情報誌「ペンギンネットワーク」より

### ■ 連携センターの片隅で ■

「ありがとう、おね～さま(^.^)」

昔かかわったことのある女性利用者さんは介助の度にお礼の言葉を口にします。職員が介助に手間取っても「いいの、いいの。」と笑顔で待っていてくれます。認知症で直前のことをも忘れてしまうため、同じことを繰り返し繰り返し聞きますが、周りの人たちは誰一人として嫌な顔をすることはありませんでした。

相手に与える印象というのは自分ではわかりにくいものですが、せめて相手に嫌な思いをさせないように気をくばること、これは人と関わるうえでとても大切なことだと感じています。



佐々木 春美  
社会福祉士  
介護支援専門員



残暑お見舞い  
申し上げます



このマガジンは当クリニックホームページ(クリニック便り)でもご覧になれます。

ゆとりが丘クリニック

検索